



図書だより

山脇学園

Learning Forest 司書室

2025年4月17日発行

入学・進級おめでとうございます。みなさんにとって充実した一年となるよう私たちもサポートしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。Learning Forest では、小説はもちろん、授業やレポートなどの課題に役立つ資料などを揃えています。テーマごとに展示もしています。是非ラーニングフォレストに直接来て、活用していただければと思います。

ヤマワキ春のホンまつり開催中！

本を1冊借りるごとに、スタンプを1個押します。
スタンプ5個で、貸出冊数を**5冊追加**できます。〈最大貸出冊数8冊〉
スタンプカードはカウンターにありますのでぜひご利用ください！

返却日は4月17日(木)です

春休み前に貸出した本の返却日は**4月17日(木)**です。
返却日を過ぎていないか確認してくださいね。



ビブリオバトル展示中

現在中央展示エリアでは、昨年度に行われた中1のビブリオバトルでクラス代表となった本を展示しています。
トロフィーと共にご覧ください。

『BOOKLIST～司書が選んだ100冊+』もご利用ください。西川校長先生の推薦本も掲載！

Monthly Special

『カフネ』阿部暁子（講談社）



法務局に勤める野宮薫子は、溺愛していた弟が急死して悲嘆に暮れていた。弟の元恋人・小野寺せつなに会い、彼女が勤める家事代行サービス会社「カフネ」の活動を手伝うことに。食べることを通じて、二人の距離は次第に縮まっていく。

先日の発表された**本屋大賞で大賞を受賞**した作品です。阿部暁子さんの本は他に『鎌倉工房メモリーズ』シリーズや、『どこよりも遠い場所にいる君へ』などもあります。

あいことばは
ヒ・ラ・ケ・ホン！

2025・第67回
こどもの読書週間
4/23～5/12

子どもたちにもっと本を！との願いから、「こどもの読書週間」は1959年(昭和34年)に始まりました。本を読む楽しさに触れてください。

本文中の書籍名のリンク先は、本校書籍検索 <https://ymwk.opac.jp> での該当書籍のページです。

＊ ＊ 昨年度貸出の多かった本をご紹介します ＊ ＊

宮島未奈『成瀬は天下を取りにいく』（新潮社）

『成瀬は信じた道をいく』（新潮社）

中2の夏休みの始まりに幼馴染の成瀬がまた変なことを言い出した。コロナ禍、閉店を控える西武大津店に毎日通い、中継に映るという。さらにはM-1に挑み、実験のため坊主頭に…。

2024年本屋大賞の大賞受賞、続刊は2025年本屋大賞第10位。

雨穴『変な家』『変な家2』（飛鳥新社）

謎の空間、二重の扉、窓のない子供部屋、この家、何かがおかしい。知人が購入を検討している都内の中古一軒家には「謎の空間」が存在していた。不可解な間取りの真相とは。フリーライターの著者と設計士・栗原のコンビが不可解な間取りの謎に挑む間取りミステリー。

清水茜『はたらく細胞（シリーズ）』（講談社）

人間1人あたりの細胞の数、およそ37兆個！そこには細胞の数だけ仕事（ドラマ）がある！ウイルスや細菌が体内に侵入した時、アレルギー反応が起こった時、ケガをした時などなど、白血球と赤血球を中心とした体内細胞の知られぬ活躍を描いた「細胞擬人化漫画」の話題作。

風良ゆう『汝、星のごとく』『星を編む』（講談社）

瀬戸内の島に育った高校生の暁海と、自由奔放な母の恋愛に振り回され島に転校してきた權。ともに心に孤独と欠落を抱えた二人は、惹かれ合い、すれ違い、そして成長していき…。続刊では、本編で語りきれなかった愛の物語が読める。

クレハ『鬼の花嫁（シリーズ）』（スターツ出版）

人間とあやかしが共生する日本。平凡な高校生・柚子は、妖狐の花嫁である妹と比較され、家族にないがしろにされながら育ってきた。しかしある日、類まれなる美貌の男性、鬼龍院玲夜と出会い…。

日向夏『薬屋のひとりごと（シリーズ）』（主婦の友社）

架空の中華風帝国、荔（リー）を舞台に、後宮に勤める官女・猫猫（マオマオ）が王宮内に巻き起こる事件の謎を薬学の専門知識で解くミステリー、ファンタジー、ラブコメディ小説。

汐見夏衛『海に願いを風に祈りをそして君に誓いを』（スターツ出版）

優等生で天の邪鬼な風沙と、おバカで素直な優海は幼馴染で恋人同士。ところがある日を境に、風沙は優海への態度を一変させる。甘えを許さず、厳しく優海を鍛える日々。そこには悲しすぎる秘密が…。



人気のある本を選ぶもよし！あなただけの1冊を見つけるもよし！
オススメの本がありましたら、是非教えてくださいね。

